

さがみはら森林ビジョン実施計画評価結果一覧表（令和3年度実施事業）

【重点事項その1】7事業

評価年度：令和4年度

シートNo. 事業コード	事業名	事業所管課による評価		審議会からの評価及び意見		審議会からの意見に対する 事業所管課の対応
		主な取組・実績	評価	事務事業に対する意見	評価	
1	1-2-1 さがみはら森林ビジョン 普及・啓発事業	<p>市民の森事業については、依然、現地でのイベント開催が困難なことから、アリオ橋本主催の「森フェス」にさがみはら津久井産材利用拡大協議会と協働して参加・協力し、パネル展示やワークショップを実施。</p> <p>10月号の広報さがみはらでは、森林特集として樹木の循環利用や補助制度、THE TOKYO TOILET事業などの記事を掲載。</p> <p>テレビ神奈川「猫ひたワイド」にて啓発チラシ「TREES FROM TSUKUI」を紹介し、普及・啓発を実施。</p> <p>さがみはら津久井産材利用拡大協議会のホームページを協働にて作成し、タイムリーな情報の発信を実施。</p>	B	<p>イベントを実施する際は、森林事情を知らない市内中央区、南区在住の市民も巻き込むと良い。</p> <p>相模総合補給廠の利用したイベントの検討もしていただきたい。</p>	B	<p>さがみはら森林ビジョンの普及・啓発に向けて、今後とも積極的にイベントの実施・参加をしていきたいと考えております。</p> <p>その際は、市内在住でも林業を知らない市民に向けて発信できるような企画も検討してまいります。</p>
2	3-1-1 「相模原市市民の森」 整備事業	<p>令和2年度に新登山道、木製ベンチ、道標を整備し、往復ルートであるが相模湖方面から山頂までの登山が可能になったことから、大明神展望台周辺（北側の相模湖方面）の樹木伐採を行い、景観の改善を実施。</p> <p>イベントの開催については、登山道（東海自然歩道）の復旧が未了であり、現地での開催が困難なことから、アリオ橋本主催の「森フェス」にさがみはら津久井産材利用拡大協議会と協働して参加・協力し、パネル展示やワークショップを実施。</p>	B	<p>令和3年度に景観伐採を行った展望台を利用したイベントの検討をしていただきたい。</p> <p>新しい登山道の開拓や古い登山道を整備し使用できるようにするなど複数の登山ルートを開拓していただきたい。</p> <p>市民の森登山道について、観光資源だけでなく、教育資源として活用していただくことも検討していただきたい。</p>	B	<p>市民の森の登山道は、複数の登山ルートを開拓することや、観光資源だけでなく、教育資源など、活用の可能性を検討してまいります。また、景観伐採等の既存登山道の継続的な整備を実施し、快適な環境の維持に努めてまいります。</p>
3	3-3-1 企業の森の整備	<p>森林資源を活用し、収入を得て森林整備費などに充てる制度（カーボンクレジット・森林再生パートナー制度など）について、他市町村の取り組み状況など、情報収集を行った。</p>	C	<p>企業の森協定企業者の選定については、下流域の企業や市内に線路が通っている鉄道会社に目を向けると良い。</p> <p>SDGsへの関心への高まりやESG投資がトレンドになっているため、相模原市の豊富な森林資源を企業にアピールできるようにすればよい。</p> <p>アクションプランを示していただき、カーボンクレジットの取組をさせていただきたい。</p>	C	<p>本市の森林資源を企業にアピールできるよう企業の森の制度化に努めてまいります。また、カーボンクレジットの活用に係る取組について検討を進めてまいります。</p>
4	4-1-1 さがみはら津久井産材 素材生産量の拡大	<p>令和3年度の素材生産量は、3,775m³と目標値を若干下回った。</p> <p>「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」では、津久井産材の利用拡大に向けた協議や産地証明制度の運用、また、協議会のHP、公式ロゴマークである「つくいのき」の焼印の制作、Twitterによる情報発信等を行うとともに、川崎市のイベントに出展することにより、知名度の向上と利用拡大に向けての取組を実施した。</p>	B	<p>業界全体のサプライチェーン構築するのは容易ではないため、ロットの小さい木材家具などから構築を検討してもよいのではないかと考える。</p> <p>生産量を増やすには、住宅に木材を使用することに重点を置いてもいいのではないかと考える。</p> <p>予算がある程度分かり、計画性がある事業に対して、木材のストックをしていく方法を検討していただきたい。</p>	A	<p>さがみはら津久井産材を安定して搬出できるような仕組みづくりを検討してまいります。来年度以降も引き続き、数値目標を上回るような取組を関係機関と連携し、行っていきます。</p>

5	4-1-3	地産地消の促進	<p>「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」による産地証明制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流通確認書発行件数...9件 ・販売・取扱量...483㎡ <p>さがみはら津久井産材利用促進事業として、公共的建築物や住宅へ、津久井産材を利用する取組に対し、経費の一部を補助する要綱を施行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共的施設等促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・件数...3件（3,473千円） ・場所...さがみ湖プレジャーフォレスト（ドッグランフィールド、ログキャビン前通路） <ul style="list-style-type: none"> 有限会社小田原屋（部屋名プレート） ○「家づくり促進事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・件数...1件 <p>東京2020オリンピック・パラリンピック大会に利用された木材を、本庁舎の「木製カウンター」や各まちづくりセンターなどに「木製ソファ」としてレガシー利用した。</p>	C	<p>市においても家具に関するポイント制度があれば良い。</p> <p>さがみはら津久井産材の家づくり事業は、申請件数が少ないため、積極的にアピールをしていただきたい。消費量を増やすためには家に木材を使用してもらうことが良い。</p> <p>一般市民向けのイベントだけでなく、施主や工務店などを巻き込んだ取組の検討もしていただきたい。</p>	C	<p>市が行う補助制度について、「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」のHPやTwitter等のSNSなどを通じてより多くの方に利用していただくために周知を図ります。また、さがみはら津久井産材の家づくりに使用していただくために、消費者だけでなく、施主や工務店をターゲットにしたイベントの実施や、情報発信の方法を検討してまいります。</p>
6	5-1-1	市有林整備事業	<p>緑区小倉地内の市有林2.69ha並びに小原地内の市有林4.30haの計6.99haにおいて、測量・間伐等の森林整備を実施した（累計166.76ha）。</p>	B	<p>引き続き市有林整備に取り組んでいただきたい。防災の面からの整備もしていただけるとなお良いかと思われる。</p> <p>目標の下方向修正するなど現状に即した目標設定を検討していただきたい。</p>	A	<p>水源環境の保全のため、適切な森林整備のさらなる推進に取り組んでまいります。目標設定は、単年度表記の変更などを検討してまいります。</p>
7	5-1-1	私有林整備事業	<p>○水源の森林づくりエリア内において、協力協約により、間伐・枝打ち31.03ha、路網（作業路）1,006mを整備した。また、新規に8.94haの協力協約（旧津久井町域4カ所、旧相模湖町域3カ所、旧藤野町域10カ所）を締結した（森林政策課）。</p> <p>○第3期市町村5か年計画に基づき、緑区大島地区の相模川沿岸の斜面緑地が持つ水源涵養機能の改善及び増進を図るため、5年目となる令和3年度は0.84haを対象に森林整備を行った。転倒崩壊防止のため傾斜木の伐採や枯損木の処理を行うとともに、林内が暗く、下層植生の乏しい個所での受光伐、および侵入竹の伐採を実施。また、森林整備のために必要な径路、土壌流出を防止するための現採丸太筋工を施工した（水みどり環境課）。</p>	A	<p>私有林整備に関して、意向調査を一刻も早く実施していただきたい。</p> <p>木材は建築材以外にも災害用の備蓄など多様な目的があるため、木材ストックといった方法の検討をしていただきたい。</p>	A	<p>私有林整備にあたっては、神奈川県が確保した水源協定林の地権者に対し、今後の森林管理について県と市で意向調査の実施を調整いたします。</p>

評価区分 S：【事業完了】最終目標を達成済み A：【予定どおり】年度別目標を達成 B：【やや遅れ】年度別目標の80%以上達成 C：【遅れ】年度別目標の50%以上80%未満達成 D：【大幅遅れ】年度別目標の50%未満達成 E：【未着手】事業を実施していない

【重点事項その2】6事業

シートNo.	事業コード	事業名	事業所管課による評価	審議会からの評価及び意見
			主な取組・実績	事務事業に対する意見
8	2-3-1	津久井産天板交換等事業	<p>児童机天板の作成及び交換（対象校8校、892枚）</p> <p>森林インストラクターによる講話は新型コロナウイルスの影響により中止</p>	引き続きナラ枯れの木も使用し天板交換事業を行っていただきたい。
9	4-1-1	さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援	<p>「さがみはら津久井産材利用拡大協議会」と、さがみはら津久井産材等普及啓発事務委託を締結し、協議会事業計画のとおり、協議会HP・Twitter、PRツール（のぼり旗、パネル）、「つくいのき」の焼印を制作した。</p> <p>また、津久井産材を使用した市内建築物について、市HPの「森林情報館」へ掲載（九都県市合同企画）、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に利用された木材を、本庁舎の「木製カウンター」や各まちづくりセンターなどに「木製ソファ」としてレガシー利用するなど、津久井産材のPRを実施した。</p>	さがみはら津久井産材利用拡大協議会の円滑な運営に向け、引き続き支援に取り組んでほしい。
10	4-1-1	公共建築物等への利用促進	<p>・津久井消防署、相陽中学校及び森のイノベーションラボF U J I N O等の建築工事に、さがみはら津久井産材（以下、津久井産材）を使用（室名札、腰壁、棚等）。</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピック大会に利用された木材を、本庁舎の「木製カウンター」や各まちづくりセンターなどに「木製ソファ」としてレガシー利用するなど、津久井産材のPRを実施した。</p>	建築物に使用する木材は加工までに時間を要するため、複数年度で対応できる仕組みづくりを取り組むべきである。市が森林ビジョンで目標として掲げているならば、自分たちで積極的に木材を使用していくべきである。
11	4-1-4	木材の多様な利用のための技術・商品開発の促進	<p>令和2年度に実施した森林資源や林業の現況調査の結果等を基に、林業事業者とともに概ね50年後の整備面積と生産量の目標値を設定し、共通認識を図った。</p>	木質バイオマスを活用した取組について、引き続き検討していただきたい。

12	4-2-3	施業集約化支援事業	小規模・分散している森林を集約し、一体的（森林経営計画）に施業を行い効率的な林業生産活動につなげていくことを目的に、「森林整備地域活動支援交付金交付要綱」を施行した。森林経営計画の作成にあたり必要となる、境界の明確化のための測量調査などに対し、交付金を交付した。	施業履歴を集約化できるとよい。また、集約化されるための仕組みづくりができるよい。
13	5-1-1	里地里山等の整備事業	○ナラ枯れ対策研修会への参加（森林政策課） ○市有林におけるナラ枯れ被害状況の調査を実施（森林政策課） ○危険木の取扱いについて、近隣市の対応状況について確認（森林政策課） ○ナラ枯れ被害対策【66,453千円】 R2からの繰り越し分含む（水みどり環境課） ・倒木・落枝による人的・物的被害の防止等のため、ナラ枯れ被害木279本を伐倒・搬出。うち211本の根株のくん蒸処理を実施。（水み	ナラ枯れ被害防止対策として、引き続き現状に応じた対応をしていただきたい。

【重点事項以外】の27事業については、審議会から意見が出なかったため、記載はありません。

<参考>重点事項以外の38事業の名称一覧

シートNo・事業コード 事業名

14・1-1-1 森林情報サイトの運営	23・3-1-2 森づくりパートナーシップ推進事業等	32・4-2-4 人材育成・担い手の確保事業
15・2-1-1 林業団体助成事業（林業振興補助金）	24・3-2-1 里地里山保全等促進事業	33・4-2-4 森づくりの推進及び保全事業（再掲）
16・2-1-1 体験学習推進事業	25・3-2-2 自然等の地域資源を生かした各種ツーリズムの推進	34・4-2-5 施業集約化支援事業（再掲）
17・2-1-1 体験学習推進事業（ふるさと自然体験教室）	26・3-2-2 地域と人をつなぐルートづくり	35・5-1-2 森林所有者への意識啓発事業
18・2-1-2 体験学習推進事業	27・3-2-2 市民との連携による交流プログラムづくり	36・5-1-3 森林現況把握等推進事業
19・2-2-1 森林を活用した体験学習の推進	28・3-3-2 森づくりの推進及び保全事業	37・5-2-1 有害鳥獣駆除等対策事業
20・2-3-1 体験学習推進事業（相模川自然の村野外体験教室）（再掲）	29・4-1-4 再生可能エネルギーの利用促進	38・5-2-2 九都県市花粉発生源対策10ヵ年計画
21・2-3-1 体験学習推進事業（ふるさと自然体験教室）（再掲）	30・4-2-1 さがみはら津久井産材利用拡大協議会の運営支援（再掲）	39・5-2-3 不法投棄対策事業
22・3-1-2 緑地保全用地の購入事業	31・4-2-2 林道等路網整備推進事業	40・5-2-4 私有林整備事業等（再掲）